

# 「2月県議会」でも一般質問に登壇し、『公契約条例の制定について』質問しました。

「2月県議会」は、2月26日に開会、3月28日に閉会しました。今議会は、県の新年度(平成25年度)予算を審議する「予算特別委員会」も併せて開催されました。私は、今議会でも一般質問に登壇し、県の公共事業入札の在り方を質すべく『公契約条例の制定について』質問致しました。そして、「予算特別委員会」では委員として、県の新年度予算について審議を行い、質問を行いました。



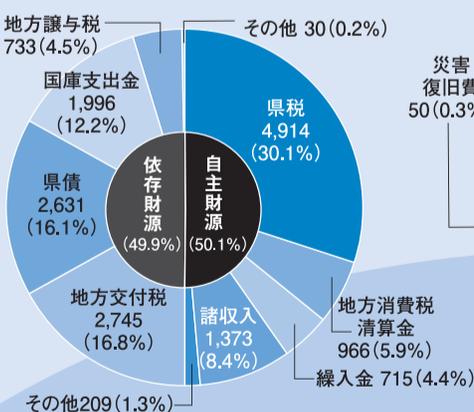
2013年「2月定例県議会」  
一般質問に登壇(3/12)

## 県議会のポイント

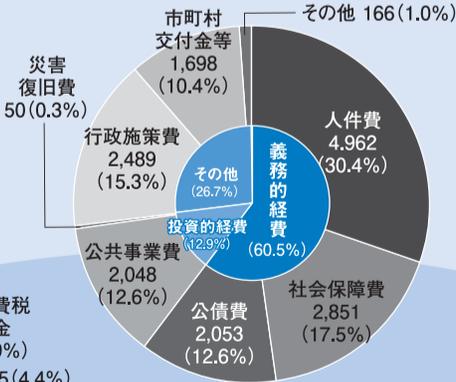
今議会は、県の新年度予算を審議する議会でもありました。小川県政3年目となる予算は、国の緊急経済対策を活用するなどして、「平成24年度2月補正予算」と一体となった14か月予算となり、過去最高の額(予算)となっています。我が会派の代表質問では、①地域主権改革の推進、②本県の経済対策、③福岡空港の限界容量問題、④環境問題、⑤対アジア戦略、⑥教育問題(体罰、いじめ)などについて、知事の姿勢を質しました。私は、一般質問で県の「総合評価方式一般競争入札」制度の問題点を指摘し、「公契約条例」を本県でも早期に制定を図るよう小川知事に強く求めました。

## 2013年(平成25年度) 県予算概要

### 歳入



### 歳出



一般会計歳入歳出規模  
**1兆6,317億円**

県債残高  
**3兆3,266億円**

※単位は億円、千万円の位を切り捨て、( )は%  
切り捨ての関係で合計が100%にならない場合もある

平成25年度一般会計予算は1兆6,317億円。平成24年度補正予算と合わせた14ヶ月予算では1兆6,717億円となっています。昨年夏の豪雨災害や東日本大震災を踏まえた防災対策、暴力団対策や性犯罪防止などの治安の維持など、県政の重要課題を積極的に進める予算となっています。

主な歳出では、公共事業費は2,418億円で、補助・単独事業費合わせて345億円、18.8%の大幅増となっています。また、義務的経費では、社会保障費は2,851億円で117億円の増。公債費(借金の返済)は2,053億円で49億円の増。人件費は4,962億

円で、53億円の減。行政施策費は2,519億円で、子宮頸がん等ワクチン接種、妊婦健診について、県の基金事業が終了し、市町村に直接財源措置されることとなったこと等により65億円の減となっています。

こうした積極予算の半面、県債残高(県の借金)は3兆3,304億円(このうち臨時財政対策債は1兆233億円)に増え、財政調整基金等三基金(県の貯金)は268億円を取り崩し88億円になっています。今後、更なるプライマリーバランスを求めていきます。

## 一般質問の骨子

現在、県の「総合評価方式一般競争入札」は最低制限価格でなければ落札できない現実にあります。安価な金額での落札は中堅中小建設業の経営を逼迫し、そこで働く建設労働者の賃金や労働条件の切り下げをもたらす地域経済の停滞を引き起こします。現在の県の「総合評価方式」

の限界性を指摘せざるをえず、「総合評価方式」の趣旨である適正価格で良好な品質の工事を行うための条件整備に加え、制度のいいところを伸ばし、労働環境の整備、公共サービスの質の向上などを加味し、よりよい制度にしたものが「公契約条例」であり、早期の条例制定を求めます。